

No 31
30 Apr. 2011

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちょう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成23年4月30日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL 03-5216-3555 FAX 03-5216-3556



PNGから義捐金3億2000万円！

会長 山下 勝男



5月17日、義捐金目録を近衛忠輝日本赤十字社社長(右)に贈呈するデニス・ベベゴ駐日臨時大使(左)



3月11日、大地震、津波、原発事故という未曾有の大災害が東日本を襲いました。災害の甚大さに日本国民がただ呆然としていたさなかの4日後に、PNG政府はいち早く、ソマレ首相が菅総理大臣に対して1000万キナ(日本円3億2000万円相当)の義捐金を贈与する旨表明しました。私はその額の大きさにびっくりし、途上国からの異例の支援金として日本のメディアでもビッグニュースとして扱われると想像しました。残念ながら私の期待は完全に外れました。大災害の直後でもあり、被害状況報道が中心にならざるを得なかったのでしょう、日本のメディアの関心は、あまりPNGには向けられませんでした。

外国からのわが国に対する善意の大きさ、友情の深さを支援金の額の大きさのみで判断することはできません。近隣の小さな友好国からは数十倍にもものぼる支援金もあれば、東南アジアの大国でも数千万円と様々です。でも、日本の人口の20分の一の約670万人、一人当たりのGNPは日本の30分の一にも満たない約1200ドルしかない途上国PNGから寄せられたこの度の支援金がPNGの人たちにとっていかに大きな額か想像できるでしょうか。

この度のPNGの東日本大災害に対する義捐金の意図表明の迅速さ、その国力に比して余りにも大きな金額は、PNG国民ならびに政府の日本に対する深い友情の表れだと心から嬉しく思い、その姿勢に深く感謝したいと思いません。外国との友好関係、外国人の日本に対する好感情は一朝一夕に出来上がるものではありません。独立後36年にわたって、PNGとの間では、日本政府は橋、道路、空港、発電所などのインフラ整備、日本と同様火山爆発、地震、津波災害にみまわれることが多く、その際の救援活動等の経済協力、技術協力を地道に行ってきました。また、民間レベルでも学校建設への協力、戦没者慰霊活動を通じての個人的交流が継続的に実施されてきました。今日のPNGの日本に対する良好なイメージは、このような永年にわたる官民の努力を通じて培われてきたものと信じています。

この度のPNG側の友好的な姿勢を目の当たりにして、協会としても民間の立場から、ささやかではあるが従来以上に両国友好促進のため交流事業を継続実施することが如何に重要であるか再認識した次第です。また両国間の友好関係の促進は双方向の努力が必要であり、日本人の側からもPNGに対する親近感を高め、良好なイメージを醸成することも重要です。PNGをよく理解し、日本にとってのPNGの重要性を多くの日本人に認識してもらうことがとても大切なことです。協会メンバーの皆さんも、機会をみつけて友好国PNGの大切さを周りの日本人に対して広報宣伝してもらえれば有難く思います。

ポリエPNG外務貿易移民大臣ご一行の来日

当協会 理事 川口 正義

「シーボニア メンズクラブ」平成23年4月26日、「日・PNG投資協定」の署名のために来日されたPNG要人を、日・パ協会で歓迎するレセプションの会場です。平日のお昼時にも関わらず参加者は60名以上で、部屋は超満員です。

ご一行は、ドン・ポム・ポリエPNG外務貿易移民大臣を中心に、ヤワ・シルパ氏とディビッド・アロレ氏のお二人の国会議員、3人の官僚(外務貿易移民省、国税委員会)そして女性の7名。デニス・ベベゴ駐日臨時代理大使がアテンドで来られています。官僚のお一人はご存知元駐日大使のマイケル・マウエ氏、お察しの通りご同行の女性とはマウエ氏のご夫人のメレ氏です。マウエ氏は外務貿易移民省次官という要職に就かれています。

「東日本大震災で被災された方々に対し、心よりお悔やみ申し上げます。そんな中、本日これだけ多くの皆さんにお集まりいただいて光栄です。パプアニューギニアと日本との投資協定が結ばれることになり、大変喜んでおります」

ポリエ大臣は力強くスピーチをされました。

総事業費1兆3000億円という巨大液化天然ガス事業「PNGLNG」が進行中のPNG。原発事故もあり、日本にとってLNG供給国としてのPNGの重要性は益々高まっています。今回の投資協定は両国、特に日本にとって大きな意味を持つことでしょう。またPNGの2010年の経済成長率は7.03%と大変高いですが、経済の発展はまだ始まったばかり。最も資金が必要な時でしょうに、先の震災に対

し3億2000万円もの義捐金を送って下さいました。

続いて村田吉隆日パ議員連盟会長の音頭による乾杯の後、ランチ、歓談が始まりました。そして歓談に引き続き、JICA(在PNG)の伊藤明徳さんからプレゼンがありました。内容は、東日本大震災の支援のために現地の高校生や教員がPNG日本人会と共に義捐金を集められた時の模様です。伊藤さんがデザインされた「がんばれ日本」と書かれたTシャツ1600枚を一所懸命販売されている様子がポリエ大臣を始め参加者一同の感動を呼びました。

そして最も感慨を持って見ておられたのが協会会員で今回被災された「パプアニューギニア海産」の武藤社長ご夫妻です。PNGの天然海老を石巻市で輸入販売されていましたが、今回の津波で建物は全壊。東京の冷蔵庫に残っていた僅かな在庫を元に、遠く大阪府の茨木市で再出発されること。

「すっかり無くなってしまいました」

努めて明るく振舞われるご主人に、そう割り切れるでもないという奥さん。このお二人に最後の「がんばれ日本」Tシャツが進呈されました。

大臣ご一行はレセプション終了後、投資協定の署名式および松本剛明外相との会談のために外務省に向かわれました。不幸な震災があったものの、却って日パ両国の絆がますます強くなっていくことが実感された歓迎レセプションでした。



PNGにおけるLNGプロジェクトと 日・PNG投資協定について

昨今、LNG(液化天然ガス)プロジェクトだの日・PNG投資協定(正式名称:「投資の促進及び保護に関する日本国政府とパプアニューギニア独立国政府との間の協定」)、だのと騒がれているが、今回は、それらがどういうもので何を意味するのか、簡単にまとめてみたい。

そもそも、LNGプロジェクトとは何なのか。ひと言で述べると、ガス生産設備、ガス処理設備、オンショア/オフショアパイプラインと天然ガス液化設備を含む総合開発プロジェクトである。

現在、PNGにおけるLNGの第一プロジェクトはすでに始動しており、設計、調達、建設のプラント業務は、日揮(株)と千代田化工建設(株)が共同で受注した。LNG生産量660万トンの約半分が我が国に輸出されることが決定しており、その量は我が国総輸入量の5%を占める莫大なもの

である。今後始動予定の第二プロジェクトにも、我が国企業が参画する予定である。

このような背景を踏まえ、さる4月26日、日本国外務省において、ドン・ポム・ポリエPNG外務貿易移民大臣と松本剛明外務大臣との間で、日・PNG投資協定の署名式が行われた。

日本政府からは、第一プロジェクト及び第二プロジェクトの円滑な実施に向け、治安改善を含む更なる協力を要請するとともに、東日本大震災を受け、LNG需要が一段と高まることを想定し、PNGが我が国にとってLNGの安定的な供給国となることへの期待を表明した。これに対し、ポリエ大臣は、LNGプロジェクトの円滑な実施を支援し、日本の旅行者、投資家の安全確保のため全力を尽くす、また、資源、エネルギー分野以外についても、両国間の協力関係を深めたい主旨を述べた。



参考文献: 外務省プレスリリース
日揮(株) ニュースリリース
写真提供: 外務省HP



日本・パプアニューギニア協会
法人会員紹介 第24回

「みなさん、こんにちは」

山九株式会社です。

〒104-0054 東京都中央区
勝どき6-5-23
TEL03-3536-3939
FAX03-3536-3864

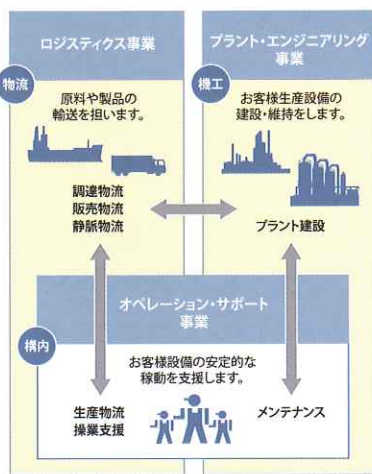
グローバルソリューション企業を目指して

山九は、1918年中村精七郎が、親会社である中村汽船の港湾荷役業務を担当する会社として創業しました。それ以来、日本経済発展の原動力となっている基幹産業(鉄鋼・石油化学・石油精製等)を物流・機工の両事業で支える世界に類の無いユニークな企業として、経済の発展に貢献してきました。

社名は、社訓にもある「感謝=Than You」の言葉と、事業基盤である山陽と九州の文字をあてました。山九グループは、国内38支店、国内関係会社44社、海外現地法人39社、3駐在員事務所の国

内・外のネットワークで、国内15,000人、海外13,000人合計28,000人が、様々なサービスを提供しています。

山九グループは、素材から消費財まで幅広い分野のお荷物を取り扱っているロジスティクス事業、お客様の工場構内で、製造工程の最適化を追求し、操業・物流作業をフォローしているオペレーション・サポート事業、お客様の生産設備の建設からメンテナンスまでを行うプラント・エンジニアリング事業、これら異なる3つの事業で、日本・中国・東南アジアそしてブラジルを中心としたお客様のグローバル展開に、トータルで対応できるユニークな企業です。



「お客様をトータルにサポートするユニークなサービス」
これらを一貫して、お客様から請け負うことができる
私たち山九グループが最も得意とする、ユニークなサービスです。

近年、高度化・グローバル化が進展するお客様のニーズに合わせ、物流ではお客様のサプライチェーンに適応できる物流を一括で請け負う3PL、メンテナンスではお客様の工場構内における業務を一括して担当する3PMにより、お客様の業務の効率化とコスト削減そして作業品質の向上に貢献しています。

山九には、「社訓三原則」があります。創業者の人生訓ですが、全社員が毎朝斉唱し、人生の羅針盤として活かしています。

「公言実行」—— 目標を公言し、その実現のために努力する。

「自問自答」—— 相手の立場に立って考えることで、本質が見え正しい判断が出来る。

「感謝」—— 全ての事・人への感謝の念を忘れない。

現在2018年の創立100周年を目指して、グループとして長期ビジョンに取り組んでいます。社名でもある「ありがとう」の気持ちで、お客様の多様なニーズに対応できる「山九品質」のサービスを、いつでも・どこでも提供できるグローバルソリューション企業を目指して、様々な取り組みを進めています。

事務局からのお知らせ

* 東日本大震災のお見舞い

この度の東日本大震災において被災された皆様、ご関係の皆様方に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復旧、復興を心からお祈り申し上げます。

* チャリティーゴルフ

毎年恒例の大使館主催チャリティー・ゴルフ・トーナメントが開催されます。

- ・日時：9月10日(土)
- ・場所：21世紀富岡ゴルフ場(群馬県)

連絡先: 城ヶ瀬様

(大使館 / FAX 03-3710-7040)

Eメール: jyogataki@png.or.jp

* スギ☆カナ写真展が開催されています!

会期: 7月1日～8月28日

会場: 清春 旅と空想の美術館(山梨県)

編集後記

まずは、本号の発行が大幅に遅れたことを深くお詫び申し上げます。

私事でたいへん申し訳ございませんが、東日本大震災後、私が体調を崩しましたこと、私の身内が被災しましたので

奔走していましたこと、震災の影響で様々なイベントが中止になってしまいましたこと等、いくつかの要因が重なってしまいました。表紙に紹介しましたように、PNGから元気をいただきましたので、これからは挽回するつもりで頑張っていきたいと思います。(佐藤直子)



日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。
会員数 2011年3月末 * 法人会員 / 25 * 個人会員 / 151

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 学生 1,000円 PNG人 1000円

会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

口座記号 / 番号 00140-2-277582

加入者名 / 日本・パプアニューギニア協会

問い合わせ先 / 日本・パプアニューギニア協会 事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段下1-6-17 千代田会館6階(ニューギニア航空日本語社内)
電話: 03-5216-3555 FAX: 03-5216-3556 E-mail: info@air-niugini.co.jp